

平成 27 年度



第 6 号

練馬区立旭丘中学校：発行 10月

日本人のノーベル賞受賞での雑感

校長 山谷 安雄

2015年ノーベル賞を2名の日本人が受賞しました。梶田隆章氏がニュートリノに質量があることを発見したことに対して、大村智氏は、抗寄生虫薬「イベルメクチン」を開発したことでそれぞれノーベル賞の受賞が決まりました。ここ数年日本人の自然科学での受賞が多くなりました。それに対して、今まで、一度もノーベル賞を受賞していないのが、経済学賞です。それには、理由があるそうです。経済学そのものが、欧米の学問であるということで、日本では、研究がなかなか進まない理由があるようです。

ところで、日本の経済発展、科学技術の発展がなぜ、戦後このように急速に起こったかという理由を何かの本で読んだことがあります。根本的な理由は、戦前の徴兵制で若い男性が次々徴兵されていき、学徒出陣と言われ大学生までも徴兵されとことにあります。そのような中で、理科系の学生は最後まで徴兵されずに終戦を迎えました。そして、終戦後残った理系の人や学生が日本の復興に大きく貢献したということです。それに対して、多くの文化系の学生が戦争で亡くなったために、政治家や経済学者になるべき人材が育たなかったとも言われています。

さて、日本の科学技術力は、世界でも有数になりました。日本人が初めてノーベル賞を受賞したのは、理論物理学の湯川秀樹博士です。日本は、戦後の経済的に貧困な状態だったため、お金のかかる実験を伴うノーベル賞を取ることができなかったと言われていました。2人目の朝永振一郎博士も理論物理学です。その後、現在に至るまで、全ての人の名前を上げるのが出来ないくらい多くの方がノーベル賞を受賞しました。戦前、戦後の理数教育が成功したと言える例だと思えます。知識重視で現在とは違った方向に向かっていました。しかし、ここで考えてみるべきことは、今の生徒と、戦前、戦後の生徒の大きな違いです。学校では、多くの知識を与えていましたが、生徒達はそれを使って盛んに授業や授業以外のところで議論していました。考える力をお互いに切磋琢磨して、知らず知らずのうちに身に付けていました。だから、学校では、知識をどんどん与えていたわけです。インターネットもなく、知識を得られるのは本と学校だけだったわけです。そして、今の学校教育は、アクティブラーニングといって、課題解決学習に重点を置いた教育に変わりつつあります。これは、現代の生徒が、インターネットや携帯メール等で、機械を相手にすることが多くなり、自分で課題を見つけられない、人とのコミュニケーションがとれない現代の生徒達を学校教育で何とかしようとした結果と言えます。知識重視の教育を戦後は学校で行っていれば良かった時代と環境と人が変わって教育方針が変わったわけです。知識を教える教育は決して間違っていないです。ただし、知識は、インターネットで瞬時に得ることができる時代になりました。その上にのせる教育を学校では、求められるようになりました。

では、今後も日本は、ノーベル賞を受賞できる研究者を育てることができるかという、今回のスーパーカミオカンデの実験結果が、受賞の大きな力になりましたが、膨大な資金を使った実験装置を日本は作れるようになったのでチャンスが増えたのは確かです。しかし、過去の日本人がもっていて、今の日本人が失って、これからの日本人が必要な力は、多くの失敗を乗り越え、研究に取り組む姿勢や、答えのない課題にチャレンジする気持ちが必要不可欠です。今までの多くのノーベル賞受賞者が必ず言っていることは、多くの失敗を繰り返しているということです。研究者になろうとしなくても、失敗を恐れなくて失敗を無駄と思わない気持ちをぜひ、身につけていって欲しいです。

【生徒の活躍】

部活動

- ・バドミントン部 練馬区新人大会 個人 女子ダブルス 3位 大野・榎崎組
男子団体 6位
ブロック大会出場
- ・野球部 練馬区新人大会 準優勝
第三ブロック大会 1回戦 勝ち 2回戦 対中野七中 負
- ・吹奏楽部 10月12日(月)体育の日 日大通り商店街 出演
- ・バスケットボール部 NNG杯男子 3位 豊玉二中・旭丘中
- ・サッカー部 練馬区新人大会 予選リーグ 大泉二中1 - 5負 貫井中0 - 4勝
学附国際中3 - 0負
1勝2敗 内容は一戦一戦良くなっている。体力と基礎技術の向上が課題である。
- ・ソフトテニス部 練馬区新人大会出場
- ・連合陸上 1年女子100m 14秒38 第8位 市川聖さん

【行事等の様子】

- ・生徒会役員選挙：9月12日生徒会役員選挙立ち会い演説会と投票が行われました。選挙の結果、野村会長他が選ばれました。
- ・修学旅行：3年生が京都・奈良の修学旅行に9月16日～18日行きました。
- ・職場体験：2年生が職場体験で9月16日～18日、各職場で貴重な体験をしました。
- ・オーストラリアから理科の先生方がいらっしゃいました。
9月28日(月)1年生の理科の授業を参観し、オーストラリアの先生のブーメラン作成の授業を行いました。自由な発想を求められた授業でしたが、楽しくできました。
- ・連合音楽会：10月9日(金)練馬文化センターで吹奏楽部が学校の代表として、すばらしい演奏を披露しました。さすが、3年連続金賞の実力でした。



- ・防災訓練：10月10日(土)小竹町会との合同防災訓練を例年通り実施しました。大きな災害が発生したときに、地域の中で中学生が救助される側から救助する側になるようになることを期待しています。

【これからの行事】

- ・文化発表会：10月31日(土)本校の3大行事の一つです。舞台発表と展示発表に分かれて、学年で取り組んでいます。ぜひ、ご参加をお願いいたします。涙と笑いのレベルの高い演劇と授業の作品等の展示です。